

社会資本総合整備計画

れんさ^{れんさ} しがいち^{しがいち} せいび^{せいび} かいゆう^{かいゆう} そくしん^{そくしん}
連鎖する市街地整備によるまちなか回遊の促進

(第4回変更)

ほっかいどう^{ほっかいどう} ふらのし^{ふらのし}
北海道富良野市

令和7年2月

社会資本総合整備計画				社会資本整備総合交付金				令和03年02月04日						
計画の名称	連鎖する市街地整備によるまちなか回遊の促進													
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	富良野市													
計画の目標	富良野市は、平成15年から駅前地区の土地区画整理事業（平成14～21年度）と第一種市街地再開発事業（平成15～18年度）を実施し、中心市街地の交通結節点と年間約9万人の住民が活用する「中心街活性化センター」が新たに整備され、本市の中心市街地の都市機能の更新が始まる。続いて、平成20年に新法に基づく「富良野市中心市街地活性化基本計画」（期：H20.11～H26.10、期：H26.11～R2.3）を策定し、計画に基づき平成22年に「フラノマルシェ」（経産省・中心市街地活性化補助金）、平成27年には「ネーブルタウン」（国交省・東4条街区地区市街地再開発事業）、平成30年には「コンシェルジュフラノ」（経産省・商業等活性化補助金）、「サンライズパーク」（総務省・中心市街地再活性化等特別対策事業）と都市機能を中心市街地へと集積することによりコンパクトシティの推進に取り組んできたところである。この結果、中心市街地の地価は6年連続して上昇（2014～2019年）し、市街地の価値を継続的に高めてきた。本市では、こうした持続性のある連鎖的更新による市街地整備を進めており、従前からまちなかの賑わい創出のベースとしている「点（拠点整備）から線（歩行者通行）へ、線から面（まちなか回遊）へ」の考え方をこれからも踏襲し、今後は、商店街を形成している東5条通りを基軸とした市街地再開発事業を公民連携して展開していく。この中で、防災機能や多目的オープンスペース、商業集積など本市が必要としている都市機能の再集積を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		791	A	791	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2）		（R7末）
1	都市機能の誘導、集積による地区再生計画区域内の空き店舗率（含 空き事務所）の減少			
	地区再生計画区域内の空き店舗数（含 空き事務所）÷地区再生計画区域内の空き店舗（含 空き事務所）含む総店舗数（含 事務所）	14%	%	6%
2	既成市街地の更新を促進する中心市街地における市街地再開発事業の実施箇所総数の増加			
	市街地再開発事業の都市計画決定総数	2箇所	箇所	3箇所
3	中心市街地の賑わいの形成とまちなか回遊を促す歩行者通行量の増加			
	東5条通（街路）の歩行者数	2188人	人	2188人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
計画期間R3～R10のため、R8～R10は次期計画とする												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	富良野市	直接	富良野市	-	-	東5条通地区再生計画検討	地区再生計画作成 A=9.2ha	富良野市	■					9		-
	A13-002	市街地	一般	富良野市	直接	富良野市	-	-	東5条3丁目地区街区整備 計画検討	街区整備計画作成 A=1.7ha	富良野市		■				21		-
	A13-003	市街地	一般	富良野市	間接	民間	-	-	コーディネート業務	コーディネート業務実施 A=1.7ha	富良野市			■	■	■	45		-
	A13-004	市街地	一般	富良野市	間接	民間	-	-	東5条3丁目街区地区第一 種市街地再開発事業	市街地再開発事業 A=1.4ha	富良野市					■	716		-
											小計						791		
											合計						791		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 連鎖する市街地整備によるまちなか回遊の促進

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

